

お茶っこはうすのスタッフの皆様

新年おめでとうございます。

石巻の未曾有の被害の中、いち早く現地に入られ、復興に向けた取組がなされていることに深く敬意を表します。また、先日は、ご多忙の中、訪問させていただきありがとうございました。

皆様方のお取組がきっかけで、11月には本郷台駅前で石巻焼きそばや女川の特産物の販売を実現できました。多くの区民が復興に向けて何らかの貢献ができた大変喜んでいました。また、私たちも石巻や女川の皆様との交流につながられそうです。ありがとうございました。

先日、お茶っこはうすをおじゃました際に、ある女性の方のお話がとても印象に残っています。娘さんが女川で津波により亡くなられ、今は、自助努力で修繕した自宅でお孫さんとともに暮らしているそうです。仮設住宅の方々は注目されているが、自分たちのような存在もわかってほしいと言われていました。ハウスでおいしいお茶を飲むのが楽しみとも言われていました。しかし、どう声をかけてよいのかわかりませんでした。ただ、聞くだけでした。もっと、聞いてさし上げればよかったと後悔もしています。自分の無力感を痛感しました。

皆様のような地域に根ざした取組をつなげていくことが何よりも大切なのかもしれません。行政は、ある一部を担えるだけです。制度外のことには、機能不全に陥ってしまうだけです。今回の訪問で、お一人お一人のところに寄り添う、献身的な活動の重要性を学ばせていただきました。

寒い日が続きますが、どうぞ、お体を大切に石巻復興のために取組を進めていただきますようお願いいたします。また、石巻の状況なども教えていただければ幸いです。栄区民全体で、石巻、女川を支えていけないか考えています。区役所としても何らかできることがあれば対応します。よろしくお願い申し上げます。

参考までに、栄区のホームページで、紹介したものです。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/sidemenu/sakaekunau/nau61.html>

2012年1月5日

横浜市栄区長 尾仲 富士夫